

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成16年7月15日(2004.7.15)

【公開番号】特開2002-354784(P2002-354784A)

【公開日】平成14年12月6日(2002.12.6)

【出願番号】特願2002-35553(P2002-35553)

【国際特許分類第7版】

H 02 M 3/155

G 09 G 3/20

G 09 G 3/28

H 03 K 17/00

H 03 K 17/16

H 03 K 17/687

H 04 N 5/66

【F I】

H 02 M 3/155 G

H 02 M 3/155 Q

G 09 G 3/20 6 1 1 C

G 09 G 3/20 6 2 1 G

H 03 K 17/00 M

H 03 K 17/16 H

H 04 N 5/66 1 0 1 B

H 03 K 17/687 A

G 09 G 3/28 J

【手続補正書】

【提出日】平成15年6月19日(2003.6.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電圧源に接続されるトランジスタと、前記トランジスタに接続される第1の配線手段と、前記トランジスタのソース・ドレイン間に並列に接続される第1の周波数低減手段とを備え、

前記トランジスタおよび前記第1の配線手段を介して表示パネルの電極に前記電圧源の電圧を印加する構成とした駆動回路。

【請求項2】

電圧源に接続されるダイオードと、前記ダイオードに接続される第2の配線手段と、前記ダイオードに並列に接続される第2の周波数低減手段とを備え、

前記ダイオードおよび前記第2の配線手段を介して表示パネルの電極の電位を前記電圧源の電位以下にする請求項1記載の駆動回路。

【請求項3】

接地端子に接続されるトランジスタと、前記トランジスタに接続される第1の配線手段と、前記トランジスタのソース・ドレイン間に並列に接続される第1の周波数低減手段とを備え、

前記トランジスタおよび前記第1の配線手段を介して表示パネルの電極の電位を接地電位

にする構成とした駆動回路。

【請求項 4】

接地端子に接続されるダイオードと、前記ダイオードに接続される第2の配線手段と、前記ダイオードに並列に接続される第2の周波数低減手段とを備え、前記ダイオードおよび前記第2の配線手段を介して前記表示パネルの電極の電位を接地電位以下にする請求項3記載の駆動回路。

【請求項 5】

周波数低減手段は容量性素子を含む構成とした請求項1～請求項4のいずれかに記載の駆動回路。

【請求項 6】

表示パネルと、前記表示パネルの電極を駆動する請求項1～請求項5のいずれかに記載の駆動回路とを備えた表示装置。